

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ―2015授賞式
配布資料②(2015.12.7)

日本フラワー・オブ・ザ・イヤ―2015決定。



Flower
**Flower
of the Year**
JAPAN FLOWER
SELECTIONS
2015-2016

及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション(JFS)とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤ―(最優秀賞)や、ベスト・フラワー(優秀賞)、各種特別賞を選定し年末に表彰を行っています。

フラワー・オブ・ザ・イヤ― <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2015-2016 審査会の開催状況

切花部門

部門名	審査日	審査対象品種
切花部門	春審査会 (日本フラワー&ガーデンショウ2015会場) 審査日:2015年4月9日(木)	36品種
切花部門	母の日審査会(株)大田花き会場) 審査日:2015年5月15日(金)	7品種
切花部門	秋審査会(株)大田花き会場) 審査日:2015年10月20日(火)	9品種
切花部門 合計		52品種

審査会の様子



鉢物部門

部門名	審査日	審査対象品種
鉢物部門	春審査会 (日本フラワー&ガーデンショウ2015会場) 審査日:2015年4月9日(木)	40品種
鉢物部門	母の日審査会 (株)フラワーオークションジャパン会場) 審査日:2015年5月15日(金)	10品種
鉢物部門	秋審査会 (株)フラワーオークションジャパン会場) 審査日:2015年11月19日(木)	13品種
鉢物部門 合計		63品種

ガーデニング部門

部門名	審査日	審査対象品種
ガーデニング部門	冬春審査会 (千葉大学環境健康フィールド科学センター) 審査日:(第1回)2015年3月2日(月) (第2回)2015年4月16日(木)	4品種
ガーデニング部門	夏秋審査会 (千葉大学環境健康フィールド科学センター) 審査日:(第1回)2015年5月28日(木) (第2回)2015年7月2日(木) (第3回)2015年8月25日(木)	17品種
ガーデニング部門	秋審査会 (千葉大学環境健康フィールド科学センター) 審査日:(第1回)2015年10月22日(木)	4品種
ガーデニング部門 合計		25品種

審査会のほかに関東東海花の展示会での受賞品種PR展示やお台場おもてなし花壇などでも多くの方にJFSの受賞品種をご紹介しました。



ジャパンフラワーセレクション2015-2016 審査員のご紹介



いい花の**新基準**。

御協力いただいた審査員の先生方

部門	審査員名
切花部門	宍戸 純 (株)大田花き 営業本部 ※〈切花部門長〉 大根 秀夫 (株)千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株)白楽花園 チーフデザイナー 北條 慶 (株)フラワーオークションジャパン 商品部課長 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株)日比谷花壇 東日本バンケット事業部
鉢物部門	長岡 求 (株)フラワーオークションジャパン 取締役※〈鉢物部門長〉 岡部 幸一 (株)大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 新商品開発課課長 小池安比古 東京農業大学 花き学研究室 教授 向原 潤 (株)ディノス・セシール フLOWERネット本部 フLOWERネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング部門	福永 哲也 豊明花き(株) 代表取締役社長 ※〈ガーデニング部門長〉 尾崎 明弘 (株)オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 田中 義一 (株)フラワーオークションジャパン 営業本部開発室課長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤敏夫 切花部門長 宍戸 純 鉢物部門長 長岡 求 ガーデニング部門長 福永哲也



お台場おもてなし花壇プロジェクトでは、JFSの受賞品種による修景花壇とトライアル花壇に参加しました。
(デザイン・植え込み・メンテナンス等のご協力: (一社)日本ハンギングバスケット協会様)

おもてなしガーデン
2年連続人気投票
第1位!

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

切花部門

住化農業資材株式会社 トルコギキョウ セレブターンブルー



いい花の新基準。



品目名：トルコギキョウ
品種名：セレブターンブルー
受賞者：住化農業資材株式会社
育成者：谷口和範
育成権者：住化農業資材株式会社
HP：<http://www.sumika-agrotech.com/>
審査講評：従来品にない印象的な花色は、紫色に白い縁どりが入ったもので、配色の分量のバランスもすばらしい。花弁が厚く、花型・分枝の長さ、すべてに置いて評価できる。新しいトルコギキョウのエポックメイキングとなりうる素晴らしい品種。



■受賞者コメント

【開発の経緯】

ここ15年で日本のトルコギキョウの品種開発は大きな発展を遂げ、花型や花の大きさなど多種多様になりました。営利上、市場流通量の多い白やピンクに注力せざるを得ない企業育種の状況下、採算性は厳しいのですが、新しさ・楽しさ・面白さを伝えられるような、個性的な品種の開発も続けております。

【開発のコンセプト】

広く流通している白と紫の覆色品種の配色パターンを逆転させて、花形もフリル咲きにすることで、華やかでインパクトのある花になりました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

覆色咲き品種は、季節や栽培環境により配色が変化しやすいので、安定した花色を保てるように、親を選抜するのに苦労しました。

【今後の展開】

セレブターンブルーの配色を変更し、白地に赤で日の丸カラー品種を東京オリンピックの開催までに作出し、セレブターンのシリーズ化を目指します。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品目名：トルコギキョウ
品種名：べっぴんさん ライトブルー
受賞者：佐瀬農園
育成者：佐瀬 昇
育成権者：佐瀬 昇
審査講評：特異なフリンジ咲きの花型が斬新で花径も大きく印象的。絶妙な色彩のグラデーションも美しく、アンティーク調なアレンジなどに使いたい雰囲気。従来に無い個性が際立っている。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品目名：トルコギキョウ
品種名：べっぴんさん ライトピンク
受賞者：佐瀬農園
育成者：佐瀬 昇
育成権者：佐瀬 昇
審査講評：特異なフリンジ咲きの花型が斬新で花径も大きく印象的。微妙な色のグラデーションも花の表情の豊かさを引き立てている。ブライダルシーンでの新たな商品としての汎用性も期待できる。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 当農園で育種をすすめていたフリンジ咲き、剣弁タイプのグループより2000年代前半にフリンジ咲き・剣弁タイプで花卉に切れ込みの入った個体を発見し、以来交配によってこの系統を維持、選抜して来た。

【開発のコンセプト】 従来なかったトルコギキョウの新しい花型として特異性、新規性のある次世代の花型の作出

【発見・開発の面白さ、難しさ】 ト ルコギキョウの可能性の追求 そして自然の厳しさ、 自殖

【今後の展開】 花色のバリエーションを増やし花型の特徴をより強くしていく予定

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名：バラ
 品種名：ガーネット ジェム
 受賞者：京成バラ園芸株式会社
 育成者：A. J. H. van Doesum
 育成権者：Interplant Roses B. V.
 H P : <http://www.keiseirose.co.jp/>
 審査講評：ころんと丸みを帯びたアンティーク調の整った花型に高級感ある深い赤の花色で従来の切り花には少ないタイプ。一輪のサイズが大きめでボリュームある草姿は、分枝部分が長く、切り分けてもそのままでも使いやすい仕立てですばらしい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】「ガーネットジェム」は、新しいスタイルの切バラを開発するための、長年の努力によって生まれました。

【開発のコンセプト】グランディフローラ社において、2004年より、カップ咲のスプレーバラで、強健で、花保ちがよいという、切バラと庭園用バラの性質を融合させるというコンセプトに基づき、開発が進められました。この育種プログラムによって、「クラスターローズ」という全く新しい切バラのシリーズに結実し、「ガーネットジェム」はそのひとつです。

【今後の展開】

将来の目標は、「クラスターローズ」の主な性質や魅力、咲き方は保持しながら、さらに色数を拡大していくことです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイティブ特別賞、フレグランス特別賞 同時受賞]



品目名：バラ
 品種名：センチッド ジュエル
 受賞者：京成バラ園芸株式会社
 育成者：A. J. H. van Doesum
 育成権者：Interplant Roses B. V.
 H P : <http://www.keiseirose.co.jp/>
 審査講評：紫に白い絞りが入る個性的な花色がその名の通り宝石のよう。ダマスク系の芳香のあるスプレー品種としても優秀。分枝部分は長くはないが、あえて切り分けずに房咲きそのままアレンジに使用してもこの花の個性が引き立つ。

■受賞者コメント

【開発の経緯】インタープランツ社の過去40年にわたる努力により、スプレーバラは、庭園用バラから完全なる切バラへと進化しました。花形は、基本的な切バラの形へとますます近づきました。

【開発のコンセプト】2005年にインタープランツ社の育種部門は、切バラとして適したスプレーバラを開発するときが来たことと決意しました。加えて、香りや多様な花形といった従来からの価値も取り入れるという目標を達成するためには、庭園バラ品種の特性を取り入れる必要がありました。

「センチッドジュエル」は、非常にユニークな色、クラシカルな花形と豊かな芳香を兼ね備えています。この品種は当社がそれらの要素すべてを一つの切バラ品種の中に入れることに成功した初めての例です。

【今後の展開】庭園用バラのようなあらゆる花形で、芳香性の、このようなタイプのバラには非常に将来性があると信じております。インタープランツは、こうした驚きに満ちたバラをさらに開発するべく全力投球していきます。

ブリーディング特別賞



品目名：フランネルフラワー
 品種名：ファンシーマリエ
 受賞者：岐阜県農業技術センター
 育成者：松古浩樹、加藤克彦
 育成権者：岐阜県
 HP : <http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>
 審査講評：切花品種のフランネルフラワーとして初めての四季咲き性品種。切り花として従来品種より丈が長くとれる。花弁（ガク）先の緑色も特徴的でよい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】フランネルフラワーは、オーストラリア原産でセリ科の多年生植物です。先端が緑色の白色花弁を10枚持ち、茎や葉が柔らかな毛で覆われ、他の花き品目にはない特徴を持ちます。従来は高性の切り花品種しかなく、押し花の材料やブライダルブーケなどに利用されていました。

その市場性に着目し、当農業技術センターでは、フランネルフラワー品種「ファンシースノー」を育成し、輸入品に比べ、日持性や品質に優れ、市場で高い評価を得てきました。しかし、3月～5月の春一季咲き性であるため、秋に生産が可能となる四季咲き性の切花品種の育成に取り組みました。

【開発のコンセプト】「ファンシーマリエ」は春一季咲き性の「ファンシースノー」と四季咲き性鉢花品種の「エンジェルスター」を交配して、四季咲き性を有し、切花に適した系統を選抜しました。

特徴は四季咲き性であり秋出荷が可能で、品質が確保しにくい秋においても切花長を十分に確保することができます。花は8cm程度で、花弁（ガク）は10枚、白地に先端が緑色となり日持性に優れます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配により四季咲き性を有し、茎が硬くて長い個体を数十個体選抜し、その中から品質に優れ、育てやすい個体を絞り込むところが難しく、面白いところです。

【今後の展開】ほしいときにいつでもある栽培技術を確立します。

ジャパンデザイン特別賞



品目名：アルストロメリア
 品種名：歌舞伎
 受賞者：有限会社三宅花卉園
 育成者：三宅 勇
 育成権者：有限会社三宅花卉園
 HP : <http://www.miyake-nusery.com>
 審査講評：黄色・赤色と葉の緑色とで歌舞伎の定式幕を思わせる個性的でインパクトのある色あい。和風な雰囲気で使用できるアルストロメリアとして評価される。

■受賞者コメント

【開発の経緯】原種アルストロメリア・カリオフィラエアやイノドーラを使った交配種を実生していると、黄色と赤のバイカラーの花が出現する場合がある。しかしその多くは、ヴィヴィットすぎる色彩が難点であった。より落ち着いた色彩で、同じようなカラーが欲しく実生選抜を繰り返した。

【開発のコンセプト】従来より暗色で周りとの調和がとれ、それでいて主張ができる品種を目的に交配選抜を行った。

【発見・開発の面白さ、難しさ】何回交配実生を繰り返しても狙っている形質を得ることができないことが多い育種の世界であるが、時には狙い通り、またそれ以上の幸運に恵まれる。

【今後の展開】交配親に使っている品種も当園のオリジナル品種であり、栽培に関しての経験値が大幅に不足しているため、品種特性を確実に見極めることがまだできていない。よりの確な栽培方法を見つけることで、他のハイブリット系に負けない豊産性を確立し、市場に供給していきたい。

カラークリエイト特別賞



品目名：アルストロメリア
品種名：コーディアルパープル
受賞者：有限会社三宅花卉園
育成者：三宅 勇
育成権者：有限会社三宅花卉園
HP : <http://www.miyake-nusery.com>
審査講評：紫がかったピンクと白色の複色花は、今までのアルストロメリアにない色。玄人好みのシックな雰囲気。

■受賞者コメント

【開発の経緯】当園で育種しているカリオフィラエア系のアルストロメリアには、紫系のバラエティがないので、そこを補う事が出来る品種を開発できないかという思いで交配実生を行った。

【開発のコンセプト】当園のオリジナル品種である『スポットィピンク』と『コーディアルピンク』を交配親に使い、より紫に近い品種を選抜していった。

【発見・開発の面白さ、難しさ】何回交配実生を繰り返しても狙っている形質を得ることができないことが多い育種の世界であるが、時には狙い通り、またそれ以上の幸運に恵まれる。

【今後の展開】まだ『紫がかったピンク』というのが正確なところで、より紫に近づくよう実生交配を行っていきたい。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：トルコギキョウ
品種名：アンバーダブル ホップ
受賞者：株式会社 サカタのタネ
育成者：森 一俊
育成権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
審査講評：変形雌ずいタイプの八重咲き品種で、花弁が厚く、つやのあるさわやかな緑色が長く楽しめる。一輪ずつカットしても、1本そのままでも使い勝手が良い。

■受賞者コメント

【開発の経緯】花弁が厚く、光沢感のあるグリーンの花色で、既存の「アンバーダブル ミント」よりも大輪でゴージャスな八重咲きの品種を育成したいと考えたため。

【開発のコンセプト】ゴージャスでありながら、他の色の花とあわせやすいように、ややうすめのグリーン色に仕上げる。変形しずいの性質を組み入れ、花持ちを向上させた品種を育成する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】変形しずいの性質と花の大輪性とを両立させるところが一番難しいポイントでした。

【今後の展開】本品種は早生ですが、中生、晩生で同じような迫力のある品種を育成したいと思います。

ライフデザイン特別賞



品目名：トルコギキョウ
品種名：ファンシー ラベンダー ELT
受賞者：株式会社ムラカミシード
育成権者：株式会社ムラカミシード
HP : <http://www.murakami-seed.com>

審査講評：エレガントな花型で、アレンジしやすい大きさ、透明感あるラベンダー色のバランスが絶妙。暖地生産の冬～早春に出荷できるラベンダー色のトルコギキョウは貴重。

■受賞者コメント

【開発の経緯】周年栽培されているユースマ、季咲栽培～抑制栽培向き品種が多い弊社品種郡から促成栽培向きの早生系品種の発表は悲願でした。

そんな中、ファンシーシリーズが発表。

【開発のコンセプト】既存のファンシーラベンダーは、やや草丈とりづらい形質を、ファンシーラベンダーELTは改良し、丈とりやすく人気の花色はそのまま、花弁数も多く大輪系品種として紹介。

【発見・開発の面白さ、難しさ】冬季から早春の加温栽培では、大輪のややフリルが入る豪華な花形に仕立てることが出来る品種。逆に高温期の作型では全体的にやわらかく仕上がるため、出荷時に注意が必要。

【今後の展開】今後生産者から出荷されるファンシーラベンダーELTを、市場・小売店へ認知頂き、ユースマの拡販に努めていきます。

ブリーディング特別賞、モニター特別賞（春）



品目名：リユーココリーネ
品種名：紫紺
受賞者：有限会社三宅花卉園
育成者：三宅 勇
育成権者：有限会社三宅花卉園
HP : <http://www.miyake-nusery.com>

審査講評：今までのリユーココリーネに無い色・型・香りの三拍子の揃ったバランスの良さが評価された。来場者の人気投票でも上位を獲得しモニター特別賞も受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】リユーココリーネ・コキンベンシス（旧名イキシオイデス）を交配実生するとブルーの濃淡やライラック系等に花色がばらけるが、その中にやや濃いパープル系の花が出現した。その花を選抜し自家受粉し、より濃いパープルを求めて交配実生を繰り返した。

【開発のコンセプト】ディープパープルの花色をリユーココリーネのカラーバラエティに加えること。

【発見・開発の面白さ、難しさ】何回交配実生を繰り返しても狙っている形質を得ることができないことが多い育種の世界であるが、時には狙い通り、またそれ以上の幸運に恵まれる。

【今後の展開】本種は交配実生選抜を繰り返し何とかユニフォームになっているが、詳細に観察すると変異が認められる。完全なユニフォームに花色はより濃くなるよう継続する。

フレグランス特別賞



品目名：ユリ
品種名：プチセレネ
受賞者：山口県農林総合技術センター
育成者：山口県
育成権者：山口県
HP：http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a17211/00000001/index.html

審査講評：光沢のあるレモンイエローのユリ。食卓にも飾れるくらいのほのかに香る微香性で、このタイプのユリでは珍しい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】

山口県では、オリジナルの花として特色ある品種を育成することを目的に、国内に魅力的な原種が数多くあるユリについて、新品種の開発に取り組みました。ここにしかないオンリーワンの品種とともに山口県の花の認知度を上げていきたいとの思いを持って品種の開発に取り組んでいます。

本品種は、小さな花が特徴で日本に自生しているヒメユリと、様々な花色の品種があるスカシユリを交配して生まれた品種です。

【開発のコンセプト】

現在流通しているユリの多くは海外で育成された品種で、大きくて豪華なイメージの品種が育成されています。それらの品種とは異なり、日本人の好みに合うような品種として、小輪タイプのユリを育成しています。小型で可愛らしく、家庭でも飾りやすい品種ですので、より多くの方に身近に花を飾ってもらいたいと考えています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

品種開発から品種が普及するまでには10年ほどかかるため、その時にどのような品種が好まれるのかを予想しながら選抜していくことが、品種開発の面白さであり、難しさだと思います。

【今後の展開】

小輪で可愛いユリ「プチシリーズ」は、「プチセレネ」を含めて、花の色や花の形が違う品種を11品種取り揃えています。家庭でも飾りやすいユリとして多くの方に使っていただけるよう、切り花の生産量を増やすとともに品種のラインナップの充実にも努めていきたいと考えています。

ジャパンデザイン特別賞



品目名：サクラ
品種名：麗らか（うららか）
受賞者：JFC石井農場
育成者：石井 重久
審査講評：細めの枝に密度の高い花着きで花型もよい。促成栽培にも向いた品種であり、啓翁桜にも匹敵する使い勝手の良さを兼ね備えた品種。

ニューバリュー特別賞



品目名：サクラ
品種名：愛（めぐみ）
受賞者：JFC石井農場
育成者：石井 重久
審査講評：大輪の花が印象的だが、葉もまた美しい。花と葉が着いた状態での流通は発想として面白く、使い勝手も良いだろう。

ニューバリュー特別賞



品目名：バラ
品種名：シュエルヴァーズ
受賞者：やぎばら園
育成者：八木 恒夫
審査講評：グリーンアイとニュアンスある色目、個性的な花型が印象に残る。かわいらしいバラとは違う力強さが新しい価値を持つ品種。日持ち性に優れている点も魅力である。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 枝変わり

【今後の展開】 海外でも生産されるような品種づくり

ライフデザイン特別賞



品目名：バラ
品種名：桃李
受賞者：やぎばら園
育成者：八木 恒夫
審査講評：輪型は大きく、開花が進むと丸みを帯びた花型が見事。シックなダルピンクの花色は、園芸上級者に好まれそうな色合い。日持ち性にも優れており、ホームユースにも向く。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 変わり咲きのバラを作る

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：トルコギキョウ
品種名：レイナ ラベンダー
受賞者：株式会社 サカタのタネ
育成者：森 一俊
育成権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評：待望の大輪系ラベンダー色のトルコギキョウ。優雅なフリル感がぜいたくな雰囲気醸し出している。ウエディングやフューネラルの現場で最大限に活躍するだろう。安定的な供給を期待したい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ラベンダー花色は重要な花色のひとつであるにもかかわらず、大輪で優雅な品種がなかったことからそのような品種を育成したいと考えたため。

【開発のコンセプト】 日本人が好む、淡く繊細なラベンダー花色を有し、かつ、婚礼などの会場を埋めるのに最適な大輪で優雅な品種を育成する。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 通常、ラベンダー花色は花弁がうすめですが、そんな中でも極力厚くなるよう選抜した点。また、高温期に栽培しても花弁数が減りにくいように工夫した点。

【今後の展開】 本品種は中早生品種ですが、冬早春の出荷、秋の出荷にも向くようなより早生や晩生の品種を育成したいと思います。

モーストジョイ特別賞



品目名：バラ
品種名：プリランテ
受賞者：京成バラ園芸株式会社
育成者：Wilhelm Ernst Kordes/Tim-Hermann Kordes
/Margarita Kordes
育成権者：Wilhelm Ernst Kordes.
HP : <http://www.keiseirose.co.jp/>

審査講評：花弁の光沢感、開花した際の花弁の多さ、花弁の多さがよりよく美しく見える花型が、従来の赤バラよりゴージャス感が際立っている。棘が少なく、扱いやすさでも優れている。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 新たな赤バラを生み出そうとの思いから、今から5年以上も前にドイツのコルデス社で交配されました。この品種は、当社が育種の規模拡大を実施してから、最初の子供たちの一つです。その後、選抜を重ねるなかで、日本の京成バラ園芸に見出され、日本においても栽培試験が為され、2014年に日本市場において世界に先んじて発表されました。

【開発のコンセプト】 世界の切バラ品種には常に変化が見られます。特に赤色のバラは既存の品種を掛け合わせるのが難しいものです。プリランテは、多くの良い性質を兼ね備えています。即ち、優れた花色、エレガントな蕾の形、良いステムの品質、大変よい花保ちと生産性です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 新しいバラを作るということは、バラの世界において新しい将来のトレンドやファッションを作るということです。毎年、育種の内容は異なり、それぞれの市場や生産地に合わせた最適な品種を見出すための、新しいチャレンジがあります。常に変化し続ける世界において、消費者の需要にフィットする新しいバラを作る必要性を感じています。

【今後の展開】 大きな将来のトレンドは、消費者に短距離で届くための地域における生産でしょう。よって、バラの需要は異なる文化を持つ消費者や気候に向けてさらに細分化されていくと予想されます。コルデス社は各生産地に適している、また顧客にとってベストな品種を作るべくベストを尽くします。現在、かなりの規模で育種を実施しており、将来に期待しています。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：バラ
品種名：マフィーユ
受賞者：後藤バラ園
育成者：後藤 裕
育成権者：後藤 裕
審査講評：人気色である優しいアプリコットピンク。色合いと花型・花の大きさのバランスが絶妙で、使い勝手が良く幅広い用途があるだろう

切花部門 秋 審査会

ブリーディング特別賞



品目名：ダリア
品種名：ピンククォーツ
受賞者：株式会社ミヨシ
育成者：天野 良紀
育成権者：株式会社ミヨシ
HP : www.miyosi.co.jp
審査講評：従来のピンク色系のダリアより青みの少ない華やかなピンク色。茎の太い品種が多い中、この品種は細軸で見た目がすっきりとしているだけでなく、固くしっかりとしていて扱い易い。育種努力と新しい形状を評価され、ブリーディング特別賞とニュースタイル特別賞の同時受賞となった。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ピンク花色にこだわり、開発した品種。また、ダリアの切り花栽培は周年栽培が主流なことから、周年栽培できる品種の開発を育種目標の一つにしている。

【開発のコンセプト】 ダリアのピンク色の品種はほとんどが青味かかるピンクになることから、きれいなピンクの品種がないのが現状である。

ピンククォーツはピンク花色にこだわり開発した品種となる。青味の少ないピンク色が特徴的な品種。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 育種目標に沿って育種することはもちろんだが、その中でも予期せぬ品種ができることがあり、面白さを感じる。その反面育種目標に忠実な品種を作ることに難しさを感じる。

【今後の展開】 周年栽培できる切り花向けダリアの品種は少ないのが現状である。今後周年栽培できる切り花向けダリアの品種拡充に努める。

ニュースタイル特別賞



品目名：トルコギキョウ
品種名：セレブオーキッド
受賞者：住化農業資材株式会社
育成者：谷口 和範
育成権者：住化農業資材株式会社
HP : <http://www.sumika-agrotech.com/>

審査講評：セミダブル的な花型だが重過ぎず軽やかな印象。個性的な花弁の動きも評価され、ニュースタイル特別賞を受賞した。優しいラベンダー色のグラデーションも良く出ていて、葬儀・プライダルのどちらでも使いやすい色味と咲き方。使い勝手の良い形質でラベンダー色を代表する品種となることが期待される。

■受賞者コメント

【開発の経緯】トルコギキョウのラベンダー色の品種はきれいな色合いなので需要はあったのですが、切り花長が短かったり、花弁が弱かったりと、栽培上・品質上の問題があり、弱点克服できるような品種を探索していました。

【開発のコンセプト】ラベンダー色品種の弱点を補強しつつ、花の表情にこだわりました。花弁先に少し濃い差し色が入ることで、花弁の立体感やフリル感が際立ちます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】トルコギキョウのラベンダー系統は一般に花弁が薄く傷みやすい品種が多かったのですが、きれいな色合いは保ちつつ、花弁質を改良することに難儀しました。

【今後の展開】ピンク、ワイン色、赤色などにも花弁内でグラデーションを持つ品種を拡大していきたい。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：トルコギキョウ
品種名：F1ハピネスホワイト
受賞者：株式会社ミヨシ
育成者：秋元 徹
育成権者：株式会社ミヨシ
HP : <http://www.miyosi.co.jp>

審査講評：純白度が高く、しっかりとしたフリル感もよい。色、咲き方、ボリューム感のバランスがよい上、花首が硬く装飾の現場での使いやすさも評価されグッドパフォーマンス特別賞を受賞した。フリル系八重咲きのトルコギキョウは、定番アイテムとして周年手に入れられることが期待されてきているので、冬期の出荷に期待が寄せられる。

■受賞者コメント

【開発の経緯】夏～秋の時期に品質・性能の優れたユーストマの白八重品種があまり流通していませんでした。特に秋はプライダルシーズンの為、白八重需要が高くなる時期です。その為、夏～秋に花型や使い勝手が良く、生産者にとっては栽培容易な白八重品種を、何回も試行錯誤しながら作出致しました。

【開発のコンセプト】夏～秋の時期でも栽培が容易で、草丈や枝が確保できるもの。また、プライダルでも使用して頂けるような、フリルがかかる花型と白さに追求致しました。また、少しでも鑑賞期間を長く楽しんでもらう為に、花持ちの良さにもこだわっています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】1つの品種の開発には10年近くもの月日を経験します。時代を先取り、需要に見合うものを作るのは大変困難ですが、目的のものができた時の喜びは計り知れません。

【今後の展開】現在ハピネスシリーズは白と黄色の2色で展開しております。今後、グリーンやブルー、ピンク等、色幅を広げていき、いろいろな場面に「ハピネス」をお届けしたいと考えております。

モーストジョイ特別賞



品目名：バラ
品種名：パテルカポリオン
受賞者：ばら工房パティオローズ
育成者：小川 宏
育成権者：小川 宏
審査講評：ブライダルでも人気の高いアプリコット系のバラ。ガーデンローズ風のやさしい雰囲気とティー系の香りを持ち、展示会場で行った人気投票では女性からの支持が一番高かった品種。「その花があるだけで喜びに満ちた気分になる」花としてモーストジョイ特別賞を受賞した。

モーストジョイ特別賞



品目名：バラ
品種名：ル・スリール
受賞者：ばら工房パティオローズ
育成者：小川 宏
育成権者：小川 宏
審査講評：ユニークなフリルの花型と香りが両立した品種。香りのある品種は日持ち性が低いものが多いが、比較的長く楽しめる。咲き進むと花色が銀色っぽく変化していき、色の変化もセールスポイントになる。ロマンティックな雰囲気でモーストジョイ特別賞を受賞。

ニューバリュー特別賞



品目名：バラ
品種名：ラナン
受賞者：ばら工房パティオローズ
育成者：小川 宏
育成権者：小川 宏
審査講評：花色の鮮やかさとコロンとしたキュートなカップ咲きのバランスが見事。中輪のサイズ感も良く、あらゆる用途での利用拡大が期待できる。ラナンキュラスに似た花型からその名がついている。

フレグランス特別賞



品目名：バラ
品種名：ラムカン
受賞者：ばら工房パティオローズ
育成者：小沢 宏
育成権者：小沢 宏
審査講評：従来にない内側と外側の質感が異なる花弁は花弁数も多く、満開になると球体ようになっていく。ダマスクモダンの香りがしっかりと乗りながらも、日持ち性にも優れた特異な品種で、フレグランス特別賞を受賞。シックな紫色は、人気のアンティーク系の色のニュアンスをもつ花との相性も良いだろう。形、色、香りともに1輪でも存在感のある魅力的な品種。

鉢物部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

有限会社 さかもと園芸 アジサイ KEIKO



いい花の新基準。



品目名：アジサイ

品種名：KEIKO

受賞者：有限会社さかもと園芸

育成者：坂本（ピムマ）ティアムチャイ

育成権者：坂本（ピムマ）ティアムチャイ

審査講評：

咲き始めは、覆輪（白地にピンク）でガク咲きで、咲き進むと淡いピンク色になり、秋色あじさいとして花色の変化を楽しめる。一花が大きく目をひき豪華な印象を受ける。半テマリ型で愛らしい形は、母の日のギフトとしても人気がでそうだ。

あじさい
KEIKO
~ケイコ~

BLUE
Beginning Full Antique

PINK
Beginning Full Antique

(有)さかもと園芸 群馬県桐生市下田沢2822 TEL0277-96-2750 FAX0277-96-2760
http://www.sakamotoengei.com E-mail:sakamotoengei@gmail.com



咲きはじめは覆輪(白地にピンク)でガク咲き、咲き進むと全体に淡いピンク色になり、半手毬型になるという今までになかったタイプです。水あがりがとても良く、暑さにも強く、夏色、秋色にもなりやすいです。花ひと房ひと房が大きくなるため、林数が少なくてもとても豪華になります。ピンク系、ブルー(パープル)系と2色作れます。

ベスト・フラワー（優秀賞）[フリーディング特別賞 同時受賞]



品目名：カリブラコア
品種名：ティフォシーダブル ベビーピンク
受賞者：有限会社ジョルディカワムラ
育成者：川村 一徳
育成権者：有限会社ジョルディカワムラ
HP : <http://www.giardino-k.com/>

審査講評：コンパクトにまとまる草姿は、完成度が高く、圧倒的な花着きが目を引き。上品な明るいピンク色は、八重なのに重い感じがしないところが良い。コンテナやハンギング、鉢花としてなど他用途に使える。



【開発の経緯】「八重咲きのカリブラコアってないの？」

これはお客様からよく頂戴する声でした。カリブラコアを長きにわたり開発してきた私たちだからこそ、中途半端な品質ではデビューさせたくない。そんな思いで開発を進め、ようやく社員全員が納得できるスペックの八重咲き品種が完成し、今回の発表に至りました。

【開発のコンセプト】 これまでにシングル咲きのカリブラコアで、十色以上の様々な花色を展開してきた弊社ですので、八重咲きタイプにおいても、同様に多くの色幅(カラーバリエーション)を持たせるように、育種を繰り返しました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 これは、八重咲きの花ならではの難しさですが、日照条件や気温といった、栽培環境によって、八重の形質が安定し出ないという問題に直面。様々な季節、日照環境においてできる限り安定してキレイな八重が現れるものを作り出す点が大変難しく感じました。そんな苦労があったからこそ、今回のベビーピンクのように、可愛い花色を見せ、なおかつ安定して八重の形質が出る品種に出会ったときは、その喜びもひとしおでした。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ニュースタイル特別賞 同時受賞]



品目名：コリウス
品種名：葉っぱのコリン シャキシヤキライム
受賞者：株式会社ハルディン
育成権者：Terranova Nurseries
HP : <http://www.jsjardin.co.jp/>

審査講評：良く分枝し、細い茎に着く小さめの葉がまとまりの良い草姿を見せる。ライムグリーンに赤いラインが入ることでアクセントになっている。爽やかなライムグリーンの葉色合いや、風に揺れる涼しげな葉型は夏にふさわしい。名前もとてもユニークで良い。

■受賞者コメント

「ユニークな色と形の葉」「ノーメンテナンスで育てやすい」が特徴の全く新しいコリウス。手入れをしなくても形よくまとまるので、園芸初心者でも簡単に楽しめる魅力があります。

シャキシヤキしたキャベツのような葉がとても印象的で、お庭にあるだけで楽しい気分！小さくまとまる特長があるので、鉢植えや寄せ植えとして楽しめます。

【今後の展開】

発色がよく、きれいな形を長く維持できるので、初夏から秋の寄せ植えアイテムとしても展開する予定です。

ベスト・フラワー（優秀賞）[カラークリエイト特別賞 同時受賞]



品目名：カランコエ

品種名：ピトン

受賞者：株式会社ハクサン

育成者：Fides B.V.

育成権者：株式会社ジェーアンド・エッチ・ジャパン

HP : www.hakusan1.co.jp

審査講評：ハイビスカスを思わせる南国調の色合いや花のコントラストが美しくかわいらしい。従来のカランコエにはない、はっきりとしたオレンジと黄色のバイカラーは、カランコエをおしゃれに見せてくれる。八重咲き品種が主流となる中、一重咲きの可能性を感じさせる。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 世界初の八重カランコエ カランディーバやミリオンスターでお馴染みのオランダFidesブランドが開発したバイカラーのカランコエです。

【開発のコンセプト】 従来なかった、はっきりとした模様のバイカラーカランコエでオレンジにクリーム色のエッジが入ります。また一重の中では大輪で、満開時には株が花で覆われるように咲きます。一輪の花持ちが良く、連続開花性が高いため長期間楽しめます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 一目見て可愛らしいと思える品種が誕生した時は嬉しいものです。またこのようなユニークな品種で高い生産性も保つことは容易ではありません。

【今後の展開】 サプライムシリーズという変わり咲きのカランコエを展開していきます。第二弾としてピトンピンクを販売します。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞同時受賞]



品目名：ペラルゴニウム

品種名：23-105

受賞者：株式会社 サカタのタネ

育成者：鈴木 清次

育成権者：株式会社 サカタのタネ

HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評：人気のパープルカラーで、表面をおおいつくすような花着きの良さは素晴らしい。こぼれ落ちそうなくらいたくさん着いた小輪の花は、小さな星のような花型で人を引き付ける魅力がある。これまでにないタイプの品種であり、花着きの良さなど、生産性も高そう。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 千葉大の花葉会の際に、安藤先生の講演で生産者育種をすすめられ、20年以上前からペラルゴニウムの交配を始めました。初めは大輪品種を多く育成していましたが、5年ほど前から小輪品種の育成も始めていき、試作、選抜を重ね、「23-105」を開発しました。

【開発のコンセプト】 従来のペラルゴニウムにない、雨に少しでも強い品種を目指しています。

【今後の展開】 交配を続け、大勢の人に喜んでいただけるものを送り出したいです。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名：ペチュニア
品種名：宙色小町
受賞者：株式会社ハルディン
育成権者：Dummen Group B.V
HP : <http://www.jsjardin.co.jp/>
審査講評：完成度の高い株姿で、花色の外側から中心の深い紫に吸い込まれそうなグラデーションの出かたも美しく、遠目にも目立つ。青紫の花は、沈んだ色合いになりがちだが、この品種は明るく目をひく。

■受賞者コメント

吸い込まれそうな深みのあるグラデーションの花色が特徴的なペチュニア。「宙色(そらいろ)小町」という名の通り、神秘的な花色はまるで宇宙のよう。
こんもりときれいにまとまる株にたくさんの花が咲くので、見応え十分です。
品のある雰囲気、洋風ガーデンだけでなく和風のお庭でも楽しんで頂けます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [フリーディング特別賞 同時受賞]



品目名：エラチオールベゴニア
品種名：プリュム
受賞者：平野園芸
育成者：平野 晃久
育成権者：平野 晃久
審査講評：葉縁のフリルが個性的で、わさび菜の様な鋸歯が印象的。ボリュームのある株や大輪の花は、商業施設や店舗の装飾、ギフトとしても映えそうである。人気品種「クリスティン」の良さを残しながらさらに葉を楽しめる品種。

■受賞者コメント

【開発の経緯】平成24年6月頃にエラチオールベゴニア「クリスティン」の中から枝変わりを発見。選抜を繰り返して「プリュム」の最大の特徴である葉のフリルを固定させる事に成功した。

【開発のコンセプト】枝変わりを発見してから、誰が見ても違いの分かるエラチオールベゴニアを育種、選抜する事を目標としてきた。

【発見・開発の面白さ、難しさ】何年かに一度、生産の現場で枝変わりを発見する事はあるが、花、葉、草姿が、元の品種と明らかに違う品種は簡単には見出せない。

また、交配して種で新しい品種が作出できるわけでもない、品種の優劣は別として枝変わりの偶然の発見は面白い。

【今後の展開】一般的にエラチオールベゴニアの生産者レベルでの育種は、枝変わりを発見して選抜する事がほとんどだと思うので、常日頃から温室内の花を観察して個性的で新しい品種を発見していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ特別賞 同時受賞]



品目名：シクラメン
品種名：フェアリーシルエット
受賞者：有限会社はら園芸
育成者：常盤 剛
育成権者：有限会社はら園芸
審査講評：淡く透明感のあるピンク色の二重咲き。おしべがないため、花の日持ち性が高く、一輪の観賞期間が長い。花も葉も小さめのサイズで、その名の通り妖精のような可憐な印象がある。非常に完成度が高く、ベスト・フラワー（優秀賞）とモーストジョイ特別賞を同時受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 従来の園芸種にはない「優しさ」「安らぎ」を感じさせるシクラメンを目指し育成しました。

【開発のコンセプト】 「優しさ」と「癒し」

【発見・開発の面白さ、難しさ】 イメージした花が咲いた時の一瞬の感動とその形質を安定させることの難しさ。

【今後の展開】

- ・ 鉢物用に中輪系の花色を増やしていきたい。
- ・ ガーデン用意小輪多花及び香りの系統を増やしていきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイティブ特別賞 同時受賞]



品目名：ポインセチア
品種名：ゴールド
受賞者：株式会社ハクサン
育成者：Dummen Orange
育成権者：Ruth Kobayashi
HP : www.hakusan1.co.jp
審査講評：インパクトのある苞の色が目を引きひと味違ったポインセチア。10月頃から流通するので、ハロウィン向けのデコレーションとしても楽しむことができる。クリスマスカラーの赤色や緑色と並べても相性がよく、今までと違った演出が可能。ベスト・フラワー（優秀賞）とユニークな色が評価されカラークリエイティブ特別賞を受賞した。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ポインセチア育種で最も歴史の長いブランド、ポールエックから発表された全く新しい色の品種です。ポールエックの持つ豊富な遺伝資源の掛けあわせによって開発されました。

【開発のコンセプト】 従来クリーム色のポインセチアはありましたが、それとは異なるゴールド色の開発に成功しました。クリスマスだけでなく、ハロウィンにも提案できる品種としておすすめできます。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 新しい色や模様の開発は非常に面白いものですが、新規性が高い商品ほど色の安定性や株のまとまりなども満足できる商品にするには多くの労力を必要とします。本品種も長期間に渡って育種されました。

【今後の展開】 ゴールドの遺伝資源を用いて、また従来にない色の開発を続けていきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）[ライフデザイン特別賞 同時受賞]



品目名：ファレノブシス

品種名：パレルモ

受賞者：有限会社椎名洋ラン園

育成者：椎名 正剛

育成権者：椎名 正剛

HP : <http://ranran.co.jp/>

審査講評：ピンク色とクリーム色にほんのりグリーンがのる珍しい花色。今までと少し違ったタイプを求める方にもお薦めしやすい。花卉が厚く、花の日持ちは長い。ギフトとしてはもちろんのこと、自分のために選び、自宅で長く楽しめるファレノブシスとしても期待したい。ベスト・フラワー（優秀賞）とライフデザイン特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 オランダにある取引先種苗会社の会議室で、大きなパネルに引き伸ばされ、飾られていた写真がこの品種との最初の出会いでした。ピンクとクリーム色の混ざり合ったその花色はとても鮮烈で、その場でこの品種の種苗取引を決めました。

【開発のコンセプト】 弊社の品種をヨーロッパで販売している種苗会社とは、お互いの優良品種を交換し合う事で、良い関係を築いております。オランダには日本には無い花色の品種が多く、これからも積極的に品種のトレードは続けていきたいと思っております。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 栽培を続けていく内に、最長開花記録が8か月という、抜群の花持ちである事が解りました。実際に購入されたお客様からも、「半年以上も咲いている！」といった驚きの声を頂いております。

さらに、日当たりの少ない室内で管理をしていくと、鮮やかなグリーンに変化していくという、非常に珍しい性質も併せ持っております。

【今後の展開】 一見して解る魅力的な花色に加え、花持ちの良さ、色変わりの性質までを、解りやすく消費者のお客様に伝えられればと思います。ラベルの工夫や、QRコード、AR等をうまく活用し、さらなる販売に向け取り組んでいきたいと思っております。

ジャパンデザイン特別賞



品目名：サイネリア

品種名：ティア・ウィッチ（魔女の涙）

受賞者：有限会社モリヒロ園芸

育成者：森川 裕介

育成権者：有限会社モリヒロ園芸

HP : <http://www.morihiro-flower.com/>

審査講評：従来のサイネリアにはない赤紫に、青色の縁取りの色合いが神秘的で妖艶である。花色にインパクトがあり、さまざまな用途に期待できる。日本人好みの色合いから注目を集めるだろう。鉢花としてだけでなくコンテナの寄せ植え用としても楽しめる。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 当社のサイネリアは、創業より40年間作り続けてきたもので、現在まで品種改良しオリジナルを栽培し続けてきた。その中で、極稀に出る突然変異種を8年かけ固定することにこのたび成功した。

【開発のコンセプト】 サイネリアにはあり得ない花色!! 赤に青の縁取りが神秘的。まさに妖艶な魔女の涙

【発見・開発の面白さ、難しさ】 突然変異種を発見した時はきれいとは程遠い花色だったか、固定させる過程で鮮やかさと濃さが増し、神秘性を帯びていった。インパクトが強すぎる花色と思われたため、ピンクとブルー、赤とブルー、紫とブルーなどグラデーションのバリエーションを増やしシリーズ化することで飽きられない工夫をした。

【今後の展開】 「〇〇の涙」シリーズとして、グラデーションのバリエーションを増やしブランド化し知名度を高めていきたい。

モーストジョイ特別賞



品目名：ペチュニア
 品種名：5つ星コレクション ピンクスターダスト
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 育成権者：Ball Horticultural Co.
 HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 審査講評： 柔らかいダルピンク色に白い星の模様が特徴的で、日本の伝統色を感じさせる色合いは和風にも見えそう。合わせやすい色合いは多くの人に好まれる。涼しげでやさしい花の色合いだけでなく、優雅な花弁の開き方も魅力的。花着きが良く、草姿のまとまりも良く、鉢花やコンテナ単植でこの品種の良さが発揮されるだろう。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 5つ星コレクションは、星型のペチュニアを集めた弊社オリジナルのコレクションです。ピンクスターダストは、人気の高い柔らかいピンクに白の星の模様が入る品種です。多種多様な花色・模様のペチュニアが発表される中、ピンクスターダストはずっと探し求めた花色です。

【開発のコンセプト】 花色の美しさに加えて、育てやすく分枝が良い品種を目指しました。次々と花を咲かせマウンド状の丸い草姿に仕上がります。

【今後の展開】 5つ星コレクションは、良質なペチュニアという意味を込めて5つ星コレクションと名付けました。これからも華やかで育てやすいペチュニアの導入に努めていきます。

ライフデザイン特別賞



品目名：ビオラ
 品種名：ぞうさんビオラ
 受賞者：株式会社ムラカミシード
 育成権者：株式会社ムラカミシード
 HP : <http://www.murakami-seed.com>
 審査講評： ネーミングの様に花弁がぐるりとまるまって、象の顔のように見える花型が面白く話題性がある。子供と一緒に楽しめそう。花壇や寄せ植えとしても良いが、鉢植えにすると良さがきわ立つ。また、濃淡のあるレモンイエローの花色から明るく見える。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 花色豊富なバンジー・ビオラは秋から長期間楽しめる花壇苗として広く普及・認知されています。その中でも花形に特徴のあるフリンジ咲きは商品価値の高い品種です。このフリンジ咲きに比肩し、高い商品価値を持つ品種育成を目標に、花の下弁がカールするというユニークな花形の系統を用いた新奇性をもつ「ぞうさんビオラ」を開発しました。

【開発のコンセプト】 フリンジ咲きとは一線を画す、新奇性のある形質を有するバンジー・ビオラの開発と花色変異の拡大。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 「ぞうさんビオラ」の花形はユニークですが、その遺伝的形質は複雑で、花粉稔性と雌性不稔性という特徴を持ちます。これらの原因を解明し商品化する事は、開発の面白さでもあり、難しさでもありました。

【今後の展開】 「ぞうさんビオラ」は特徴的な遺伝を示すため、現在はポット苗の流通のみです。その特性をより精査・解明する事で、より広く皆様の目に触れる品種に成長させる事が目標です。

鉢物部門 母の日 審査会

ライフデザイン特別賞



品目名：エピデンドラム
 品種名：ピンクパール スマイル
 受賞者：有限会社宮川洋蘭
 育成者 宮川政友
 育成権者：有限会社宮川洋蘭
 審査講評：草姿のバランスが良く目をひく。ピンクの花色がやさしい印象で、花が房状に無数に咲く姿はすばらしい。太陽光に当たると花卉の表面がパールのようにキラキラと輝いて光沢を放つのが特徴的。

ジャパンデザイン特別賞



品目名：アジサイ
 品種名：スターリットスカイ
 受賞者：川與園芸
 育成者：川口隆徳
 育成権者：川口隆徳
 審査講評：一花が大きく花房も大きい。ウェーブがとても美しく、しぼり柄の萼（がく）は、和のテイストを感じさせる。青と白のコントラストが美しい品種。葉の縁の切れ込みも面白い。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 6年前、当園で以前から栽培していた‘渥美しぼり’という品種から1本の枝変わりが見つかり、その枝から2本の差し穂をとり、翌年花色を確認してから挿し木をし、その翌年また花色を確認してから挿木をしてから挿木をして花色を安定させ、出荷体制を整えて来ました。

【開発のコンセプト】 枝が太く強いので、花が垂れさがることがなく、根が強いので、立ち枯れにも強い品種です。節間が短いので徒長もしません。覆輪も美しいですが、ベースとなる青の色の濃さも特長です。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 スターリットスカイの親となった渥美しぼりは、僕が就農してからずっと作り続けてきた品種でした。今日に到るまでに12年の歳月がかかっています。思い入れがあるだけに「キレイな花ですね」「スゴイ花ですね」と言われるとうれしいです。

【今後の展開】 スターリットスカイを欲しいと思っただけのお客様に安定して供給していけるように、努力していきたいです。そして、より一層の品質管理と良品出荷を目指したいと思います。

鉢物部門 秋 審査会

ニュースタイル特別賞



品目名：ノボタン
 品種名：Peace Baby
 受賞者：F・S・T
 育成者：Terence Charles Keogh
 育成権者：Plant Network
 審査講評：
 白く大きな花にピンク色の雄しべのアクセントが印象的。これまでにない斬新で優れた形状をもつ品種としてニュースタイル特別賞を受賞。つぼみから開花まで段階を追って美しく、観賞価値が高い。コンパクトな草姿でギフト商材としても期待したい。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

有限会社 綾園芸 ラナンキュラス ラックス ピュタロス



いい花の新基準。



品目名：ラナンキュラス
品種名：ラックス ピュタロス
受賞者：有限会社 綾園芸
育成者：草野 修一
育成権者：有限会社 綾園芸
HP：www.ayaengei.com
審査講評：

ラナンキュラスのイメージを変えたラックスシリーズの一つ。光沢のある花弁、生育旺盛でスプレー状ににぎやかに咲く姿は、消費者に十分にアピールする力がある。

耐寒性と言う点で、マイナス10℃にまでなった露地花壇での生育は厳しいものがあったが、マイナス5℃くらいまでなら十分に耐えると思われる。販売地域によって売り方や、育て方の提案を考えると良い。

冬～春にかけてのガーデニングに新しさを加える良い品種として高く評価された。



▲定植後2日の屋根付き施設の様子（10月3日撮影）



▲定植後134日の屋根付き施設の様子（12月24日撮影）



▲定植後186日の屋根付き施設の様子（4月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 野生種のラナンキュラスには、花弁に強い光沢を持つものがあり、その光沢を従来のラナンキュラスに取り入れようと交配をした。わずかに採れた種子よりいくつかの固体が得られ、試作を重ね、その中から優良個体を選んで、今品種として取り上げた。

【開発のコンセプト】 ピカピカ輝く今までにないラナンキュラスをつくる

【発見・開発の面白さ、難しさ】 交配、試作を重ねていると、植物の持つ潜在能力に驚きます。想像しなかったような花に出会うこともあり、それもまた嬉しい。

【今後の展開】 ラックスが宿根するラナンキュラスであることがわかり、ガーデニング材料に向いている。もっと、色や花型のバラエティを増やしていきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [フリーディング特別賞, カラークリエイト特別賞同時受賞]


品目名：ランンキュラス
 品種名：ラックス リュキア
 受賞者：有限会社 綾園芸
 育成者：草野 修一
 育成権者：有限会社 綾園芸
 HP : www.ayaengei.com

審査講評：ランンキュラスのイメージを変えたラックスシリーズの一つ。花卉の光沢感だけでなく、花卉に若干ねじりが入る。

独特のピンク色は表面と裏面で色が違うところも面白い。

耐寒性という点で、ピュタロス同様マイナス10℃にまでなった露地花壇での生育は厳しいものがあったが、コンテナ植えのガーデニング素材としても十分楽しめる。

ランンキュラスらしくないところがアピールポイントであるので、販売時にも花の状態が分かるような売り方をすると良い。冬から春にかけてのガーデニング素材は、高さのでない植物が多いが、新しい素材として、また、切花としても楽しめるという点でも一般の消費者にアピールしやすい。花を買うきっかけになるような、すばらしい品種。



▲定植後2日の屋根付き施設の様子（10月3日撮影）



▲定植後134日の屋根付き施設の様子（12月24日撮影）



▲定植後186日の屋根付き施設の様子（4月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 野生種のランンキュラスには、花卉に強い光沢を持つものがあり、その光沢を従来のランンキュラスに取り入れようと交配をした。わずかに採れた種子よりいくつかの固体が得られ、試作を重ね、その中から優良個体を選んで、今品種として取り上げた。

【開発のコンセプト】 ピカピカ輝く今までにないランンキュラスをつくる

【発見・開発の面白さ、難しさ】 交配、試作を重ねていると、植物の持つ潜在能力に驚きます。想像しなかったような花に出会うこともあり、それもまた嬉しい。

【今後の展開】 ラックスが宿根するランンキュラスであることがわかり、ガーデニング材料に向いている。もっと、色や花型のバリエーションを増やしていきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [フリーディング特別賞 同時受賞]



品目名：ビオラ
品種名：ピエナ オレンジ
受賞者：株式会社 サカタのタネ
育成者：中川 雅博
育成権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
審査講評：色あせしないビビッドなオレンジ色。形態は伸びすぎず、コンパクトすぎず、横に均一に広がる。コンテナ使いでも、花壇使いでもどちらでも使いやすい。
連続開花性にも優れ、4月5月まで花が楽しめるので、ペチュニアなどへの切り替え時期を考えてもちょうど良い。
消費者の期待を裏切らない安定感のある品種。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子（11月14日撮影）



▲定植後129日の露地花壇・群落植栽の様子（3月23日撮影）



▲定植後142日の露地花壇・群落植栽の様子（4月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 これまでのビオラのオレンジは、需要は高いものの、どの品種も株ができにくく、作りにくい性質をもっていました。また、生育環境によってオレンジ色が薄くなったり、Ray（ひげ）が入るなどの性質がありました。そこで、株張りがよく、さらに花色が濃いオレンジ色で、どのような時期でも花色が安定する品種を目指して育成しました。

【開発のコンセプト】 花色が濃いオレンジ色で、株張りがよい品種の開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 パンジー・ビオラの中で、オレンジ色は育種が難しく、各社が苦戦している花色でした。オレンジ色を濃くすると、発芽が悪くなり、株張りが弱くなる傾向にあります。そのような中、発芽、株張り、花色などのバランスをとって育成することが大変でしたが、一筋縄ではいかない中でも良い系統を育成することが面白さでした。

【今後の展開】 「ピエナ®」シリーズの新色を追加していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名：ビオラ
品種名：ピエナ ラベンダーピコティー
受賞者：株式会社 サカタのタネ
育成者：中川 雅博
育成権者：株式会社 サカタのタネ
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>
審査講評：伸びすぎず、コンパクトすぎず、また、マイナス10℃にまでなった露地花壇でも花上りがよく、草姿も乱れず、抜群のパフォーマンスを発揮した。グラデーションがかった美しい紫色は、花傷みも目立たず、手入れに手間がかからない。一般の消費者が失敗なく楽しめるだけでなく、これを植えておけば春まで良いと言う便利さで、特に公共の花壇の植栽などにもお勧めできる。



▲定植後0日の露地花壇・群落植栽の様子（11月14日撮影）



▲定植後129日の露地花壇・群落植栽の様子（3月23日撮影）



▲定植後142日の露地花壇・群落植栽の様子（4月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】これまでのビオラは、生育が旺盛だが株が暴れてしまう品種や、コンパクトにまとまるが生育が遅い品種が主流となっておりました。そこで、生育力があり株がつくりやすいが、コンパクトにまとまる品種を目指して育成しました。

【開発のコンセプト】

・株張りがよく、コンパクトにまとまる品種・花上りの良い品種・今までにないユニークな花色

【発見・開発の面白さ、難しさ】暑い時期の栽培で株ができる品種は、徒長しやすく暴れてしまう傾向があり、株がコンパクトにできる品種は生育が遅い傾向にあるなど、一長一短の特性をもっていました。

そのような中、暑い時期の栽培でも株張りがよく、分枝が多く、コンパクトな草姿の品種に育成することは難しく、またそこに面白さがありました。

【今後の展開】「ピエナ®」シリーズの新色を追加していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイティブ特別賞 同時受賞]



品目名：カリブラコア
品種名：ミリオンベル レッド
受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者：村上 保之、宮崎 潔、金谷 健至
育成権者：サントリーフラワーズ株式会社
HP：<http://suntory.jp/FLOWER/>
審査講評：高温期に花色が薄くなる品種が多いなか、観察時期を通して常に深みある鮮やかな赤い色味を保っていた。盛夏に一度花数が減ったが、花密度が減った際に見える明るいグリーンの葉色とのコントラストも美しいとの評価もあった。株のサイズ、バランスがよく、株が乱れにくい。セルフクリーニング性も高く、消費者にも育てやすくおすすめできる。赤色品種でこの耐暑性は秀逸である。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（5月12日撮影）



▲定植後42日の露地花壇・群落植栽の様子（6月10日撮影）



▲定植後54日の露地花壇・群落植栽の様子（6月22日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 ミリオンベルの赤色品種は以前も存在したが、'真っ赤'と言えるような濃い赤はなく、若干枝があらい傾向があった。そこで、まさに'真っ赤'と言えるような濃い赤で分枝、生育も良い強健な品種を作出することを目標に交配、選抜を進め、今回のミリオンベルレッドの作出に成功した。

【開発のコンセプト】 分枝・生育が良く、強健な'真っ赤'のミリオンベル。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 カリブラコアでは赤色の品種の作出は難易度が高く、いい赤色で、かつ強健な品種を選抜するところに難しさがあった。

【今後の展開】 ミリオンベルを今よりもさらにお客様が楽しんでいただけるカリブラコアシリーズにするべく、引き続き品種の改良を進めていきたいと考えております。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイティブ特別賞 同時受賞]



品目名：カリブラコア
品種名：ティエルノ クリアイエロー
受賞者：松原園芸
育成者：松原園芸
育成権者：松原園芸
HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>

審査講評：クリアな黄色が夏の日差しの中で美しい。近くで見ても、また、遠くから見ても目を惹く花色。株は、コンパクトで一般の消費者にも育て易いが、家庭用以外にも修景用のランドカバーとしての用途もよいだろう。密植しすぎないように注意をすれば蒸れにくく、ピンチをした株の回復も早かった。雨が降ると花が閉じるので花傷みが目立たない点も評価できる。



▲定植後13日の屋根付き施設での様子（5月11日撮影）



▲定植後43日の屋根付き施設での様子（6月10日撮影）



▲定植後100日の屋根付き施設での様子（8月5日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】 カリブラコアは、春から秋にかけて長く楽しめる植物で、花付きも類似植物のペチュニアに比べて良いが、耐病性、耐暑性が若干弱いと感じていた。

そこで耐病性、耐暑性、ならびに株張りに優れ、夏の暑さにも負けずに旺盛に成長するカリブラコアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】

耐病性、耐暑性、耐環境性の強化。

旺盛な株張りとう育力。連続開花性の向上。

1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 交配から選抜まで、2年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。

【今後の展開】 同様の強健なカリブラコアの色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞） [カラークリエイト特別賞 同時受賞]



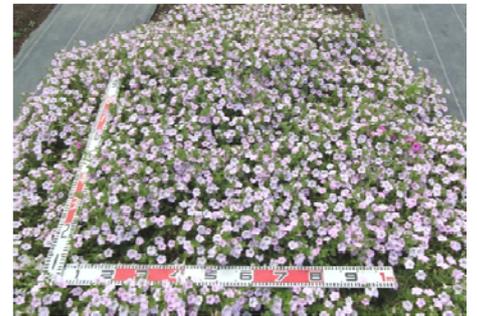
品目名：ペチュニア
品種名：ソフィアの宝石 ホワイトピンク
受賞者：有限会社 村岡オーガニック
育成者：村岡 昌美
育成権者：村岡 昌美
HP : <http://muraokaorganic.com/>
審査講評：1株のパフォーマンスが非常に良い。ほふく性品種の中ではそれほど株傷みが目立たず、連続開花性、耐暑性もある。大きく育つ品種だが、摘芯してからのリカバリーも早く株の整形も容易で、一般の消費者でもとても育て易い。小輪サイズの花が株一杯に咲き見ごたえがある。涼しげなホワイト系のピンク色の小輪系は、ペチュニアでは珍しく人気となるであろう。



▲定植後14日の露地花壇・群落植栽の様子（5月12日撮影）



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（6月10日撮影）



▲定植後101日の露地花壇・群落植栽の様子（8月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】

ソフィアの宝石ホワイトピンクは、以前ジャパンフラワーセレクション2012-2013に入賞したソフィアの宝石バイオレットの姉妹品種です。今回は数ある開発品種の中で、弊社で栽培調査をした結果、パフォーマンスに納得のいく結果がでましたので、商品化しました。

【開発のコンセプト】

お客様が栽培された時の育てやすさを最も重要視して開発しています。そのために、1株で大きく育ち、花数も多い品種である品種に仕上げました。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

沢山の品種の中で、納得のいく品種を作り出すのは本当に大変なことです。お客様に喜んで頂ける商品を商品化するまでには、多くの時間と多くの労力を費やし、また何度も栽培調査をしなければいけません。

【今後の展開】

より多くの方に、ソフィアの宝石ホワイトピンクを通して花を育てることの楽しさや園芸のすばらしさが伝えることができればと思っています。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]



品目名：インパチェンス
 品種名：バウンス ピンクフレーム
 受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
 育成者：Mario Guillen
 育成権者：Ball Horticultural Co.
 HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>
 審査講評：直射日光の下でも育て易いタイプのインパチェンス。6月初旬に植え付けてから、8月末の観察終了までの約3か月間、株が休むことなく成長し、花も連続して開花した。
 丸くドーム型に育つ品種で、株の形がまとまっており株割れをしてこなかった。遠目に見ると暗めに見える葉色だが、尖った葉と葉脈の赤さもポイントになっている。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子（6月10日撮影）



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（7月14日撮影）



▲定植後52日の露地花壇・群落植栽の様子（7月23日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】

インパチェンスは日陰の植物として定番ですが、真夏の日向から日陰まで場所をでも素晴らしいパフォーマンスを発揮する品種を目指して改良を重ねました。

【開発のコンセプト】

夏場に育てやすく、いつでも美しいことを重要視して開発しました。直射日光下でも日陰でもどこに植えても旺盛に生育し開花を続けます。生長すると360°どこからみても丸いフォルムに仕上がりに、大きく咲き広がる草姿を楽しめるのも特徴です。水枯れから回復の早さも重要視して育種したので、水やりのタイミングを逸しても短時間で元の草姿に戻り、いつも美しい状態を楽しめます。

【今後の展開】

年々暑さが厳しくなる昨今で品種選びに多くの業界関係者、エンドユーザーともに悩んでいることと思います。バウンスが選択肢の一つとして定着できるように認知を広めていきたいと思っています。

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：マーガレット
 品種名：ぼぼたん パステルピンク
 受賞者：松原園芸
 育成者：松原園芸
 育成権者：松原園芸
 HP：<http://matsubaraengei.blog.fc2.com>

審査講評：株がコンパクトにまとまり、従来のマーガレットのように草姿が乱れることがない。花が株近くに上るタイプで管理作業もしやすい。中心の筒状花も開花するので、花形は咲き進むにつれて徐々にタンポポのように丸く変化してくる。淡いピンクの花は花数も多く、カーペット状に広がっていく。誰にでも好まれる花色と育て易さという点でも消費者に推奨できる。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 松原園芸では、以前からマーガレットの生産を行っており、在来の品種のみであったため、時代の変化と消費者の嗜好の多様化に対応するため、新品種の開発をはじめた。通常の花形ではない丁子咲きで、大手メーカーが作らない日本人の感性にあう淡い色合いの品種を作りたいと思い開発を試みた。

【開発のコンセプト】 丁子咲きタイプで、淡い色合いの花色、分枝性、開花性の向上、寄せ植えやコンテナに向くコンパクトな草姿

【発見・開発の面白さ、難しさ】 交配から選抜を行い、目的の淡い色合いを作り出せた。その後、いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐環境性、開花性も調査し、既存品種と同等のパフォーマンスを得られた。また、分枝性がすぐれ、株が徒長せずにコンパクトに生育するので、寄せ植えやハンギングでも使える商材になると思った。

【今後の展開】 同様に丁子咲きタイプで色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ジャパンデザイン特別賞



品目名：ペチュニア
 品種名：サフィニアアート ピンクイエロー
 受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
 育成者：山田 将弘
 育成権者：サントリーフラワーズ株式会社
 HP：<http://suntory.jp/FLOWER/>

審査講評：明るいピンク色の中心に明るい黄色の星形のアクセントが入るユニークな品種。1株で十分にボリュームが出るので、花壇に植える場合は密植しすぎないほうが良い。連続開花性もあり、明るいカラーパターンでにぎやかな花が咲き続ける様子は楽しく、丈夫で育て易い品種で、消費者にお勧めしやすい良い品種。

■受賞者コメント

【開発の経緯】 これまで、白色スターパターンの品種しかなかったが、白色以外のスターパターンがあれば、よりコントラストが美しいのではないかと考え、有色品種との交配を実施。選抜した結果、今回のピンク&黄色スターパターンの品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】 日本の高温多湿の夏にも負けないガーデンパフォーマンスの強さを兼ね備えたスター咲きサフィニア。

【発見・開発の面白さ、難しさ】 複色の品種開発は、色パターンの安定しないことが多く、また時期によっても色パターンが変わることがあるので、シーズンを通じて色パターンの安定した品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】 今後は黄色スターパターンの色バリエーションの拡大を進めていきたいと考えております。

ジャパニデザイン特別賞



品目名：ペチュニア
品種名：サフィニアアート ローズイエロー
受賞者：サントリーフラワーズ株式会社
育成者：山田 将弘
育成権者：サントリーフラワーズ株式会社
HP : <http://suntory.jp/FLOWER/>
審査講評：ローズピンクの花弁の中央に黄色の星形のアクセントが入るユニークな品種。
定植初期の生育に特に安定感があった。密植しすぎずにのびのびと植栽すると蒸れが出にくく良さが出る。
1株で寄せ植えなどに使うこともお勧め。

■受賞者コメント

【開発の経緯】これまで、白色スターパターンの品種しかなかったが、白色以外のスターパターンがあれば、よりコントラストが美しいのではないかと考え、有色品種との交配を実施。選抜した結果、今回のローズ&黄色スターパターンの品種を作出することに成功した。

【開発のコンセプト】日本の高温多湿の夏にも負けないガーデンパフォーマンスの強さを兼ね備えたスター咲きサフィニア。

【発見・開発の面白さ、難しさ】複色の品種開発は、色パターンの安定しないことが多く、また時期によっても色パターンが変わることがあるので、シーズンを通じて色パターンの安定した品種を選抜するところが難しく、重視しているポイントである。

【今後の展開】今後は黄色スターパターンの色バリエーションの拡大を進めて行きたいと考えております。

カラークリエイト特別賞



品目名：カリブラコア
品種名：ティエルノ ダブルスカーレット
受賞者：松原園芸
育成者：松原園芸
育成権者：松原園芸
HP : <http://matsubaraengei.blog.fc2.com>
審査講評：やや朱色がかった特徴的な赤色の八重咲き品種。
密植しすぎないように注意すれば、パフォーマンスを発揮し易い。耐暑性があり、1株でまとまりよく育つので、鉢植えで楽しむことの多い一般のユーザーにお勧めしやすい。

■受賞者コメント

【開発の経緯】カリブラコアは、春から秋にかけて長く楽しめる植物で、花付きも類似植物のペチュニアに比べて良いが、耐病性、耐暑性が若干弱いと感じていた。

そこで耐病性、耐暑性、ならびに株張りに優れ、夏の暑さにも負けずに旺盛に成長するカリブラコアの開発を目指した。

【開発のコンセプト】耐病性、耐暑性、耐環境性の強化。旺盛な株張りや生育力。連続開花性の向上。1株でも大きく育ち、楽しめるパフォーマンス性。豪華な八重咲き品種の開発。

【発見・開発の面白さ、難しさ】交配から選抜まで、2年以上をかけて行い、本品種にたどり着いた。いろいろな環境条件、場所で植栽試験をし、耐病性、耐暑性、耐環境性が他品種よりも向上し、株張り性、開花性も向上させることができた。また、夏の暑さでも完全な八重咲きになり、環境に左右されない花形を作ることができた。

【今後の展開】同様の強健なカリブラコアの色幅を増やして、シリーズ化し、春から長く楽しめる商品として提案していきたい。

ニュースタイル特別賞



品目名：ツルレイシ
品種名：上里アップルゴーヤ
受賞者：有限会社マルコウ種苗
育成者：岡村 秀雄
育成権者：岡村 秀雄
HP : marukou2251.com

審査講評： 白い果皮、果実の肩部が平らでリンゴのような形に見えるゴーヤ。
緑の葉に白い実のコントラストが楽しい。葉の下に隠れるように実が成るので、グリーンカーテンの仕立て方を工夫して、実が見えるように栽培するとより楽しめる。



▲定植後0日の露地花壇の様子（5月13日撮影）



▲定植後40日の露地花壇の様子（6月22日撮影）



▲定植後86日の露地花壇の様子（8月6日撮影）

ブリーディング特別賞



品目名：ヒマワリ
品種名：サントスティック イエロー
受賞者：株式会社 サカタのタネ
育成権者：HM. CLAUSE
HP : <http://www.sakataseed.co.jp>

審査講評： 矮性のヒマワリは、花が終わればその株は終わりという品種が多かったが、側枝から次々に蕾が上がり、花径は小さくなるものの咲き続ける。育種の新しい形といえる。
40センチほどの高さまでの生長なので、風雨で倒れにくく、商業施設や公共植栽にも使いやすい。ホームユースでも今までにないヒマワリを使った夏の寄せ植えを楽しむことができる。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子（6月10日撮影）



▲定植後20日の露地花壇・群落植栽の様子（6月22日撮影）



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（7月14日撮影）

グッドパフォーマンス特別賞



品目名：ニチニチソウ
品種名：F1バリエント オーキッド
受賞者：株式会社エム・アンド・ビー・フローラ
育成者：Denis Flaschenriem
育成権者：Ball Horticultural Co.
HP : <http://www.simplybeautiful.jp/>

審査講評：花壇での直植えでの耐病性が特に評価された。連続開花性も問題なく、一枝一枝の高さがランダムに生長するところも奥行き感が出ておもしろい。家庭用としてだけでなく、夏のランドスケープに草丈のボリュームが出る植物としての利用価値も高い。



▲定植後8日の露地花壇・群落植栽の様子（6月10日撮影）



▲定植後43日の露地花壇・群落植栽の様子（7月14日撮影）



▲定植後66日の露地花壇・群落植栽の様子（8月6日撮影）

■受賞者コメント

【開発の経緯】

ニチニチソウ(ピンカ)は従来、花壇定植には向かない植物とされていました。しかしながら、ピンカを花壇用途へという需要の高まりと、潜在的なニーズに対応するため、5年以上に亘る研究開発を続け、ようやく今回の品種投入を実現できました。

【開発のコンセプト】

品種開発のプロセスでは、今回の耐病性のように機能の重視とともに、オーナメンタルとしてのいわゆる外観的な魅力も併せもつ必要があります。バリエント・オーキッドについては、強健性に加え、花弁の大きさや発色、草姿バランスなど複数の評価基準のもとで選定されています。

【発見・開発の面白さ、難しさ】

機能性と外観的な美しさを両立させる品種開発では、シリーズ内の揃いの維持という点で、より高度で困難な技術を求められます。一方で、当初は特定の立ち枯れ病への耐性にフォーカスしていたのですが、雑種強勢の相乗効果によって、従来種よりも環境適応力などの点で相対的な優位性も確認されています。

【今後の展開】

まずは発売後、マーケットからフィードバックされる情報を適宜確認し、必要であれば継続的な改善を進めることとなります。同時に、色幅を増やすことでシリーズ全体のプレゼンスを高めることも続ける計画です。立ち枯れ病に耐性と性質の強さを兼ね備えているので、ニチニチソウの定植をあきらめていた場所に使ってもらいたいと考えています。



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。



いい花の**新基準**。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内

TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743

メール : ifpc@ifpc.or.jp